

小学校 高学年 国語 漢字の成り立ち①

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 次のようにしてできた漢字を、書きましょう。

から二つずつ選んで
(10点×6問)

点

(1) 目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。

(2) 目に見えない事がらを、印や記号を使って表わしたもの。
例> 鳴

例> 上

(3) 漢字の意味を組み合わせたもの。
例> 鳴

明 川 下 中 雨 休

二 次の漢字の音を表す部分を□に書きましょう。(10点×4問)

やり方 粉 分

(1) 格

(2) 銅

(3) 持

(4) 清



漢字の成り立ちには、音を表す部分と、意味を表す部分を組み合わせたものがあるよ。

一次の漢字の成り立ちを下から選んで、記号を書きましょう。
(10点×5問)

ましよう。

点

(1) 羊

(5) 森 (4) 門 (3) 三

漢字の意味を組み合わせたもの。

工 音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせたもの。 〈例〉草・粉

□に当てはまる漢字を書きましょう。また、|の漢字は、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせた漢字です。それぞれの部分を書きましょう。(10点×5問)

(1) じ
かん
を 守 つ て 行 動 す る。

チャレンジ！



意味を表す部分

音を表す部分

The diagram shows the structure of a Japanese sentence. On the right, the sentence "この荷物はかるい。" is written vertically. To its left, a bracket groups the first three characters ("この荷物") as one unit, labeled "音を表す部分" (part that represents sound). An arrow points from this bracket to a large empty box below it. The final character "い" is labeled "意味を表す部分" (part that represents meaning) and is positioned above a second large empty box.

同じ意味を表す部分が使
われている他の漢字を考
えて書いてみよ。

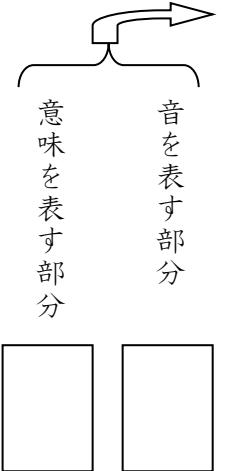
チャレンジ！

小学校 高学年 国語 漢字の成り立ち③

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 次の | の漢字は、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせた漢字です。それぞれの部分を書きましょう。

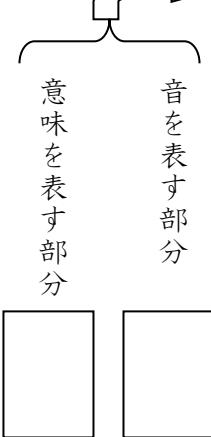
(1) 編集会議を開く。



(2) 黒板に絵をかく。



(3) 週刊誌を買って読む。



できたら、漢字
辞典で確かめてみ
よう。



二 次の | の漢字の成り立ちを、漢字辞典を使って調べましょう。

(4) 晴天
(3) 休日
(2) 週末
(1) 子牛

--	--	--	--

次の文について、正しい敬語をつけましょう。

(10点×5問)

点

- 一 ○をつけましょう。
- (1) 先生が、教室に
いました いらっしゃいました
- (2) わたしの母の質問に、校長先生が
申されました お答えになりました
- (3) 社長がディナーを
食べる めしあがる
- (4) となりの家の木村さんから、おみやげを
もらつた いたいた
- (5) 明日、お宅に
行きます うかがいます
- 二 の言葉を敬語に書き直しましょう。(10点×5問)
- (1) 先生の子どものころの夢を聞きました。
- (2) ゲストティーチャーの言うことを正確にメモする。
- (3) 先生は、もう帰りました。
- (4) 校長先生が、賞状をくれる。
わたしのが荷物を持ちます。
- (5) 校長先生が、賞状をくれる。



尊敬語
自分や身内の者の動作をけんそんして言うことで、その動作を受ける人への敬意を表すときは、「けんじょう語」を使うよ。

一 の言葉を敬語に直し、□に文を書き直しましょう。

(15点×5問)

点

(1) 少し、待つて。

(2) 先生が、映画を見る。

(3) 校長先生が話す。

(4) 私の考えを言います。

(5) お客様を見送る。

ヒントの言葉!
(特別な言葉を使った言い方)
「いらっしゃる」
「申し上げる。」



二 職員室にいらっしゃる先生に、プリントを提出しに来たことを、実際に話すように書いてみましょう。(25点)

失礼します。

一 次の文で、敬語が使われているところに線を引きましょう。(10点×4問)

(1) コンサートには、もう行かれましたか。

明後日、ご自宅にうかがいます。

(2)

この機械の操作は、私がご説明します。

(3)

どうぞ、たくさんめし上がってください。

(4)

二 次のそれぞれの表現は、どのように言いかえるとよいか考え、書きかえましょう。

(15点×4問)

(1) 家に来客があつたとき

「お父さんは、今出かけてて。山本さんが来たって、言つておきます。」

(2)

電話をかけたとき

「もしもし。山口だけど、たかし君は。」

(3)

「はい。…だれですか。…お母さんは、今、いません。帰つてきたら、田中さんに電話するように言います。」

(4)

全校児童に、委員会の報告をするとき
「生活委員会で決まつたんだけど、今月の目標は『くつそろえをする』だよ。」



点

次の文中の — の漢字の読み方を書きましょう。

(1) 人間にとつて、時間は大切な財産である。

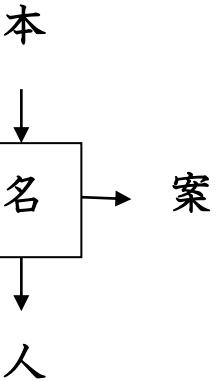
(2) 祖父が学んだ読本を借り、音読してみた。

(3) 直接会って、正直に話し、謝罪する。

(4) 姉はアメリカに留学中で、しばらく留守だ。

二 例にならつて、□に当てはまる漢字を入れ、それぞれ四つの熟語を作りましよう。

例



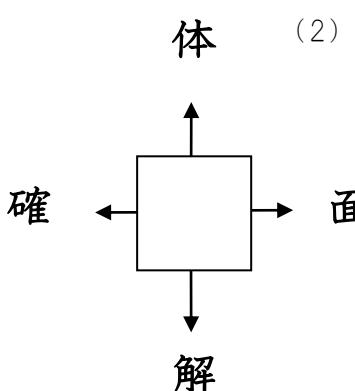
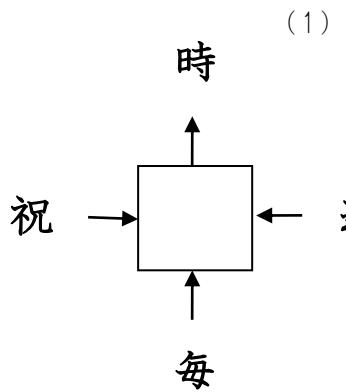
漢字には、複数の音をもつものがあるよ。漢字辞典も使って調べよう。



じゅくご
(10点×2問)

(10点×8問)

点



小学校 高学年 国語 漢字の読み方・使い方②

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 真ん中の□に当てはまる漢字を入れ、それぞれ、四つの熟語を作りましょう。また、できた熟語の読み方を()中に書きましょう。

(4点×25問)

点

(1)

伝 動

発

(3)

午 方

半

(2) 音 器

園 気

(4)

全 努

自

(5)

唱 宿 同

集



熟語は、矢印の方向
に読むよ。
わかるかな？

小学校 高学年 国語 漢字の読み方・使い方③

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 複数の音をもつ漢字を使った問題を作つてみましょう。

(1)

(2)

〈問題の作り方〉

- ① 答えになる漢字を決める。
- ② 答えになる漢字を使った熟語を一つから四つ書く。

③ まわりの□に漢字を書く。

- ④ 読む方向に矢印を書く。
できたら、友達やお家の人に聞いてもらおう。



ヒント！

漢字辞典で音が複数ある漢字を見つけてみてはどうかな。

こんな漢字を使ってみてはどうかな。

みてはどうかな。

「下(ゲ、カ)」
「競(キョウ、ケイ)
「生(セイ、ショウ)」
「便(ピン、ベン)」

二 次の特別な読み方をする言葉の読み方を()に書きましょう。また、その言葉の中から三つ選んで、文作りをしてみましょう。

・ 真面目 ()
・ 今年 ()
・ 今朝 ()
・ 二十日 ()
・ 上手 ()
・ 今日 ()
・ 時計 ()
・ 明日 ()
・ 大人 ()
・ 博士 ()
・ 昨日 ()
・ 眼鏡 ()

俳句は、五・七・五の十七音で感動を伝えます。生活の中で気づいたことやおどろいたことを、俳句にして伝えてみましょう。

☆次の俳句を声に出して読んでみましょう。

名月や池をめぐりて夜もすがら

(松尾芭蕉)

ひつぱれる糸まつすぐや甲虫

(高野素十)

一 生活の中で気づいたことやおどろいたことを、短い文章で書きとめましょう。

二 文章に書いたことを、五・七・五の十七音で俳句にしましょう。

三 俳句では、「季語」という季節を表す言葉を使います。

(例)以外の「季語」を集めてみましょう。

(例)

冬	秋	夏	春
さざんか 雪	コスモス さんま 手ぶくろ	泳ぎ かぶと虫 トマト 冬じたく	あたたか かえる 桜 入学 ひばり あせ



小さな「つ」
やのばす
音、「ん」も
一音と数え
るよ。

★ 俳句の表現を工夫しよう。

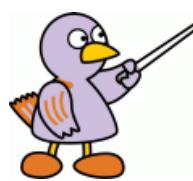
空き地にはひまわりさいできれいだな

「ひまわりさいできれいだな」のところをたとえを使って

言いかえてみましょう。

空き地にはひまわりたちが

俳句では、「さいで」というように想像できぬ言葉や、「きれいだな」というなよみ手の気持ちを直接言い表す言葉は、できるだけ使わずに表現するといいよ。
この句は、ひまわりを人のようにたとえてみよう。



<表現の工夫のポイント>

- ① 言葉を選ぶ。(たとえ、色、音など五感を使って)
- ② 言葉の順序を工夫する。(順序を入れかえてみると印象がちがいます。)
- ③ どの文字で書き表すかを考える。(ひらがな、カタカナ、漢字)
- ④ 「は」「が」「も」「を」「へ」「に」などの使い方を考える。
(一文字ちがいで思い浮かぶ様子が変わります。)

★ 俳句①(前のプリント)で作った自分の俳句の表現を工夫してみよう。

作った俳句は友達と読み合おう。感想も伝えるといいね。



(　　)年(　　)組(　　)番 名前(　　)

一 「飛び上がる」のような、「飛び——」という言葉を集め、
意味を調べましょう。また、その言葉を使って短い文を作り
ましょう。

点

(10点×4問)
「飛び——」という言葉は、
まだまだたくさんあるよ。
辞書で調べてみよう。

(1) (2) (3) (4)

（　）飛び (　）飛び (　）飛び (　）飛び

文 意味 文 意味 文 意味 文 意味

二次の言葉は、結び付くどんな複合語になるでしょう。
(10点×6問)

(1) 昼 + 休み ↓

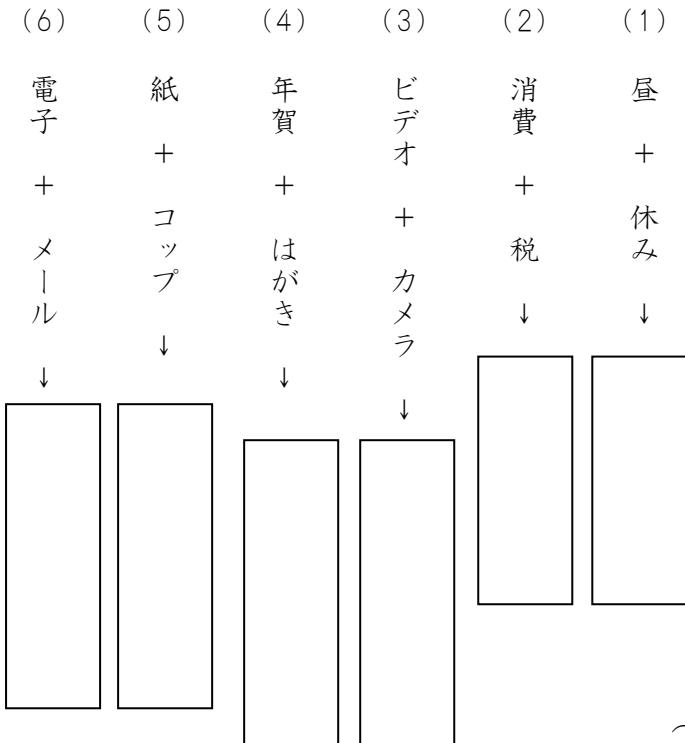
(2) 消費 + 税 ↓

(3) ビデオ + カメラ ↓

(4) 年賀 + はがき ↓

(5) 紙 + コップ ↓

(6) 電子 + メール ↓



「飛び——」
といふ言葉は、
まだまだたくさんあるよ。
辞書で調べて
みよう。

(　　)年(　　)組(　　)番 名前(　　)

一
中の複合語は、(1)から(6)のどの組み合わせの
グループに入るか考え、(　　)に書きましょう。(5点×12問)

オレンジ色 ブックトーク ピアノ教室

放送室 あめ玉 花火大会 山登り

スーパーコンピュータ 再建計画 音読カード

歯ブラシ 時間切れ

(1) 和語と和語の組み合わせ (　　)(　　)(　　)
(2) 漢語と漢語との組み合わせ (　　)(　　)(　　)

(3) 外来語と外来語との組み合わせ (　　)(　　)(　　)
(4) 和語と漢語との組み合わせ (　　)(　　)(　　)

(5) 和語と外来語との組み合わせ (　　)(　　)(　　)
(6) 漢語と外来語との組み合わせ (　　)(　　)(　　)

二
「手」がつく複合語を集めましょう。
(1～5個10点、6～10個20点、11個以上40点)

（例）手ぶくろ
「手」を辞典で引いて
みるとたくさん言葉が見つかるよ。



点

一 次の複合語を声に出して読み、読み方を () に書きましょう。また、その中で元の言葉と発音が変わるものには、□に○印を付けましょう。

(読み4点×12問 ○4点×8問)

- | | |
|-------------|--------------|
| (1) 風向 () | (2) 風下 () |
| (3) 春雨 () | (4) 雨上がり () |
| (5) 白波 () | (6) 朝日 () |
| (7) 白ばら () | (8) 野原 () |
| (9) 筆箱 () | (10) 春 () |

二 次の複合語を□に漢字で書きましょう。また、読み方を () に書きましょう。

(5点×4問)

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) こめ + たわら () | (2) ほとけ + こころ () |
| (3) ふね + たび () | (4) あめ + おど () |

身の周りには複合語がたくさんあるよ。
教科書や新聞などの中から複合語をさがしてみて、
辞書で意味を調べてみよう。

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) こめ + たわら () | (2) ほとけ + こころ () |
| (3) ふね + たび () | (4) あめ + おど () |



(　)年(　)組(　)番 名前(　)

一 次の言葉を和語・漢語・外来語に分けてみましょう。(5点×12問)

ふるさと 科学 ラッシュ 人

相当 予想 スピード 過ごす

多い スイミング 帰省 スプーン

和語 () () () () () () ()

漢語 () () () () () () ()

外来語 () () () () () () ()

二 次の言葉と同じ意味の和語や漢語、外来語を□から選んで書きましょう。(5点×8問)

(1) ラッシュ () (2) ホテル ()

(3) 食堂 () (4) スイミング ()

(5) 調査 () (6) 決定 ()

(7) 速度 () (8) さじ ()

スピード 調べる スプーン 混雑
レストラン 水泳 決める 旅館

点

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 次の文中の――の言葉の漢語と和語の読み方を書きましょう。

(10点×10問)

点

水辺の生物の観察をする。

()

生物は、いたみやすいので早く食べてください。()

()

風車小屋のまわりに、花がきれいにさいている。()

()

弟が風車を持って、楽しそうに遊んでいる。()

()

色紙に、野球選手のサインを書いてもらつた。()

()

色紙で、つるを折つた。()

()

先生は、書道の大家だ。()

()

アパートの大家に、家賃をはらう。()

()

長い年月がたつた。()

()

年月を重ねる。()

()

二 身の回りの文章から、和語・漢語・外来語をさがしてみましょう。

和語

漢語

外来語



同じ漢字でも、漢語と和語で意味がちがう言葉もあるよ。辞書で調べてみよう。

☆次の各文の□に当てはまる漢字を、()から選びましょう。

(10点×10問)

一（刊・肝・干・幹・汗）

① 毎週水曜日に発売される週

誌。

② この海は、

満の差が大きい。

③ 新線で大阪まで行く。

臓の検査入院をする。

⑤ 運動による発で、水分が失われる。

二（故・古・湖・個・固）

① 五年ぶりに

郷に帰る。

体が液体になる。

③ びわ

は日本一大きい。

④

人より、団体競技の方がいい。

代エジプトの歴史。



どの部分が共通でどんな読み方をしていくかな。



上

() 年 () 組 () 番 名前 ()

☆次の各文の□に当てはまる漢字を、()から選びましょう。

(10点×10問)

一（検・験・陰・剣）

① 刀 をとぐ。

② 身の危

を感じて、避難した。

③ 車を点

する。④スイミングスクールに、体

入学する。



二（司・飼・詞）

① 学級歌をクラスみんなで作

する。

② 育係が、うさこぎにえさをやる。

する。



③ テレビ番組の

会者。

府がたちならぶ町。

がすけて見える。

三（館・官・管）

①

② 図書

で、本を借りる。

☆次の各文の□に当てはまる漢字を、()から選びましょう。

(10点×10問)

一（生・星・姓・性）

活科の学習で、町たんけんをする。

②理科で
座の学習をした。

③男か女か、
別にまるをつけた。

④占いで
名判断をしてもらつた。

二（士・志・誌・仕）

①父は毎日、
事で帰りが遅い。

②力
たちのけいこを見学した。

③三（群・郡）
部から都市部に引っ越す人が増えている。
望する学校に合格した。

④しし座流星
を観察する。

④雑



共通するのは「君」
だけど、読み方は
「くん」ではない
ね。

の発売が待ち遠しい。



共通する部分は
どこで、何て読む
かな。

上

() 年 () 組 () 番 名前 ()

☆次の部分が表す意味を漢字辞典で調べ、□にあてはまる漢字を書きましょう。

【例】イ（にんべん）
人間、人間のおこないや、動作に関する字に用いられる。

（10点×10問）

体

育の学習で、気分が悪くなつたので、少し

休

んだ。

一 言（いう・ごんべん）

① 学級会の

長を務める。

②

会の学習をした。

③ 日

の宿題を忘れてしまつた。

二 雨（あめ・あめかんむり）

① 大

が降つたので、車のタイヤを冬用にかえた。

②

ひとつない、晴れた日。

③ 修学旅行の二日目は、

となり、かさを使用した。

④ 遠くの方で

が鳴つてるので、早めに帰ろう。



例にならつて
やつてみよ
う。

小学校 高学年 国語 漢字の形と音・意味（同じ部分と意味②）

（　　）年（　　）組（　　）番 名前（　　）

☆次の部分が表す意味を漢字辞典で調べ、□にあてはまる漢字を書きましょう。
(10点×10問)

【例】日（ひ・にちへん）

意味 「日（ひ）」をもとにして作られ、天体や気象、時間や明るさにかかる字。

早 く起きたが、まだ

暗 いので、もう少し寝ることにした。

※日の漢字を使って短文を作り、使った漢字に線を引きましょう。

・今日は、火曜日だ。

・冬になると、日が短くなり、暗くなるのが早くなる。

一心・卜（一ころ）・りつしんべん（完答）

意味

□

□

□

□

□

□

□

※心・卜の漢字を使って、短文を作り、使った漢字に線を引きましょう。（配点なし）

必 息 悪 快 忘
急 愛 快 忘
心 応 快 忘



この中から選んで書こう。

上

小学校 高学年 国語 漢字の形と音・意味（同じ部分と意味③）

() 年 () 組 () 番 名前 ()

☆次の部分をもつ漢字を集め、部分が表す意味を漢字辞典で調べましょう。

【例】土 (つちへん)

つちへんの漢字 場 地 坂 城

部分の意味

大地の意味を表す「土 (つち)」をもとに作られ、土地や地形にかかる字。

一木 (きへん)

きへんの漢字

部分の意味

二車 (くるまへん)

くるまへんの漢字

部分の意味

三糸 (いとへん)

いとへんの漢字

部分の意味

小学校 高学年 国語 漢字まちがい探し①

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 各文の漢字の間違いを見つけ、正しく直しましょう。（両方できて 10点×10問）

(誤)

(正)

① 試合は以外な結果に終わった。

② 異句同音に唱える。

③ 引卒の先生の指示に従う。

④ 政治に感心を持つ。

⑤ 身の危険を感じて避難した。

⑥ 国語の成績がとてもよかつた。

⑦ 近所で映画の撮影があった。

⑧ 作業の後仕末をきちんとしましよう。

⑨ 二学期は心気一転がんばろう。

⑩ 科学の専門家になる。

↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--

上

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 各文の漢字の間違いを見つけ、正しく直しましょう。

(誤) (両方できて 10点×10問)

(正)

⑪ すみずみまで掃事をする。

⑫ 強風がおさまるまで家で待期する。

⑬ ぼくと弟は対象的な性格だ。

⑭ 短刀直入に話を切り出す。

⑮ 避難民の受け入れ体勢を整える。

⑯ わたしの得技は、一輪車に乗ることです。

⑰ 模形の飛行機を作る。

⑱ 明日は家庭訪門で先生がいらっしゃる。

⑲ 完単な問題を解く。

⑳ 礼儀正しく近所の人と接する。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

上

(年) (組) (番 名前)

――線の部分を漢字で表したときに、当てはまる漢字にまるをつけましょう。

(5点×20問)



上

- ① 郵便をおくる。 (送る・贈る)
 弓で矢をいる。 (射る・入る・要る)
 あたたかな日。 (温か・暖か)
 計算があう。 (会う・合う)
 年があける。 (明ける・開ける)
 カメラでうつす。 (移す・写す・映す)
 税金をおさめる。 (收める・納める・修める)
 授業におくれる。 (遅れる・後れる)
 あつい本。 (厚い・熱い・暑い)
 クラス委員におす。 (押す・推す)
 しょう数の学習。 (少・小)
 新しい家がたつ。 (建つ・立つ)
 小鳥がなく。 (泣く・鳴く)
 選手い外は休み。 (以・意)
 目がさめる。 (覚める・冷める)
 身長をはかる。 (計る・測る・図る・量る)
 司会をつとめる。 (努める・勤める・務める)
 間違いをなおす。 (治す・直す)
 朝はやく起きる。 (速く・早く)
 気がかかる。 (変わる・代わる)

一 「不」「未」「無」「非」のいずれかを使って、下の語を打ち消す漢字三字の熟語を完成させましょう。

① 欠席のため、皆勤賞となつた。
□

② 私は指先が器用です。
□

③ このあたりの練習では、まだまだ十分だ。
□

④ このあたりの土地は、開発である。
□

⑤ 宿泊先では、常口を確認しましょう。
□

⑥ 入試で合格にならないように、熱心に勉強する。
□

⑦ 気味なくらい静まり返っている。
□

⑧ その話については、決定です。
□

⑨ 世の中には思議な現象がたくさんある。
□

⑩ お金を落として一文になってしまった。
□



（10点×10問）

() 年 () 組 () 番 名前 ()

二字の漢字からできている熟語の成り立ちには、次のようなものがあります。

ア似た意味の漢字の組み合わせ（岩石・河川）

イ意味が対になる漢字の組み合わせ（上下・左右）

ウ上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ（鉄橋・親友）

エ「くを」「くに」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ（預金・投球）

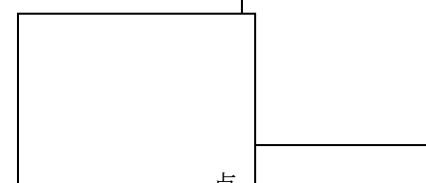
一次の熟語の読みを横の「()」に書き、下の()の中に、アからエのどの組み合わせにあてはまるか書きましょう。

【例】「はくし」

白紙(ウ)

⑯ 「 ⑰ 「 ⑮ 「 ⑬ 「 ⑪ 「 ⑨ 「 ⑦ 「 ⑤ 「 ③ 「 ① 「
 優 駅 暗 初 直 苦 寄 競 机 激
 秀 前 黒 夢 線 楽 港 争 上 突
 () () () () () () () () () () () ()

⑯ 「 ⑰ 「 ⑮ 「 ⑬ 「 ⑪ 「 ⑩ 「 ⑧ 「 ⑥ 「 ④ 「 ② 「
 激 明 拡 出 応 歸 遅 白 寒 防
 痛 暗 大 場 答 郷 延 黒 暖 風
 () () () () () () () () () () () ()



二字の漢字からできている熟語の成り立ちには、次のようなものがあります。

ア ウイ エ
似た意味の漢字の組み合わせ（岩石・河川）

意味が対になる漢字の組み合わせ（上下・左右）

上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ（鉄橋・親友）

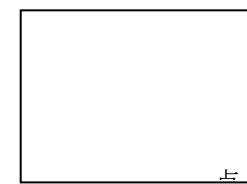
「くを」「くに」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ（預金・投球）

一 次の熟語の読みを横の「 」に書き、下の「 」の中に、アからエのどの組み合わせにあてはまるか書きましょう。
(5点×20問)

【例】 「とざん」
登 山 (エ)

⑯ ⑰ ⑮ ⑯ ⑪ ⑨ ⑦ ⑤ ③ ①
短 昼 観 美 開 力 溫 有 巨 早
針 夜 劇 点 閉 作 水 無 木 速
() () () () () () () () () ()

⑯ ⑰ ⑮ ⑯ ⑪ ⑩ ⑧ ⑥ ④ ②
沿 就 握 干 高 最 多 預 着 回
道 職 力 満 低 古 大 金 陸 転
() () () () () () () () () ()



上

() 年 () 組 () 番 名前 ()

一 □にあてはまる漢字を□の中から選び、似た意味の漢字の組み合わせの熟語を完成させましょう。

(5点×10問)

② 学

④ 体

⑦ 通

⑨ 服

⑧ 会

⑩ 冷

⑤ 生

② 助

⑥ 関

③ 付

救 寒 習 衣
行 産 育 合
洋 係 身 着

使わない漢字
は二つあるよ。

訓読みにして
考えてみよう。

上

二 □にあてはまる漢字を□の中から選び、反対の漢字の組み合わせの熟語を完成させましょう。

(5点×10問)

① 上

④ 地

⑦ 入

⑨ 悪

② 新

⑤ 壳

⑧ 多

⑩ 近

③ 増

⑥ 後

先 遠 天 少
大 買 出 減
遅 旧 善 下



() 年 () 組 () 番 名前 ()

短歌は、五・七・五・七・七の三十一音からなります。小さな「つ」

一 教科書の「たのしみは」で学習したことを生かして、「よろこびは」で



☆ 次の文章を読んで、答えましょう。

「どうも変なうちだ。どうしてこんなにたくさん戸があるのだろう。」「ずんずんろうかを進んで行きますと、今度は水色のベンキぬりの戸がありました。

「これはロジャー武大
寒いところやこの口にはあんなに」と

アリーナはこの戸を開けたと同時に、一いきをなす。二三書いたり言ひたり

⑦【当軒は注文の多い料理店ですから、どうか^⑨そこはご承知ください。】

なかなかはやでるんだこんな山の中では

それをうながして、見なまえ 東京の大きな料理屋にて大通りには少ないたゞ二
人は言いながら、その戸を開けました。すると、そのうち側に、
【注文はずいぶん多いでしようが、どうかいちいちこらえてください。】
「これはぜんたいどういうんだ。」

一人のじきに顔をしかめ言ひ

『一派の多い料理店』 宮沢賢治

8 の 戸

(二)二人は、たくさん戸がついているのはなぜだと思っていますか。四文字を書きぬきましょう。

の建物だから

(三) ①が指していることを、五文字で書きぬきましょう。

5 こと

(四) ⑦を見て、二人はどう思いましたか。二十字程度で書きましょう。

20		

24



みやざわけんじ
宮沢賢治の作品を読んでみ
よう。
「銀河鉄道の夜」や
「雪わたり」などがあるよ！



た		
り		
、		
細		
い		
線		
路		
が		
し		動
な		い
つ		た
た		り
り		、

芥川龍之介の
あくたかきりゅうのすけの
「杜子春」「鼻」
などがあるよ！

(二) トロツコが下るときスピードがあつて音が聞こえてきそ、うな文章があります。そのまま次のわくの中に書き写しましょう。

と思う

と思う

「平かトロッコや土工にあこがれている様子が書いてあります。『土工になりたいと思う』のほかに、二力所さがして、マスがぴつたりうまるよう書き出しましょう。

トロッコへ乗りたいと思うこともある。
トロッコは村外れの平地へ来ると、自然とそこに止まってしまう。と同時に、土工たちは、身軽にトロッコを飛びおりるが早いか、その線路の終点へ車の土をぶちまける。それから、こんどはトロッコを押し押し、もと来た山の方へ登りはじめる。良平は
そのとき、乗れないまでも押すことさえできたらと思うのである。

※「トロッコ」 芥川 龍之介

☆ 次の文章を読んで、答えましょう。

おたわら　あたみ　けいへんてうふせつ　りょうへい
小田原・熱海間に軽便鉄道敷設の工事が始まつたのは、良平の八つの年だつた。良平は毎日村外れへ、その工事を見物に行つた。工事を—といったところが、たゞトロッコで土を運ばんする—それがおもしろさに見に行つたのである。

☆ マスを正しく使って、ていねいな字で書き写しましょう。

春はあけぼの。やう
やう白くなり行く山ぎ
は、すこしあかりて、
わ
むらさきだちたる雲の
ほそくたなびきたる。

あなたの感じる春らしい
ものは何かない？

春は明け方がよい。だんだん白くなつていく
山ぎわの空が、少し明るくなつて、紫むらさきがかつた
雲が細くたなびいているのがよい。



夏は夜。月のころはや
らなり、やみもなほ、ほ
たるの多く飛びちがひた
る。また、ただ一つ二つ
など、ほのかにうち光り
て行くもをかし。雨など

ふるもをかし。
お



夏は夜。

夏は夜がよい。月のころは言うまでもないが、

月のない闇夜でもやはり、ほたるがたくさん飛びかって
いるのはよい。ただ一ぴき二ひきと、かすかに
光りながら飛んでいくのも、しみじみとしてよい。
やみよ

☆ マスを正しく使って、ていねいに書き写しましょ。

秋は夕ぐれ。夕日のさ
して山のはいと近うなり
たるに、からすのねどこ
ろへ行くとて、三つ四つ、
二つ三つなど、飛びいそ
ぐさへあはれなり。まい
てかりなどのつらねたる
が、いと小さく見ゆるは
いとをかし。日入り果て
て、風の音、虫の音など、
はた言ふべきにあらず。



秋は夕ぐれがよい。夕日が差して、山にとても近くなつたころに、からすがねぐらに行こうとして、三羽四羽、二羽三羽などと、急いで飛んでいく様子までしみじみとしたものを感じさせ。まして、雁などが列を作つてゐるの^{かり}が、とても小さく見えるのは、たいへん味わい深いものだ。日がすっかりしづんでしまつて、風の音や虫の音などがするのも、言い表しようがなくよいものだ。

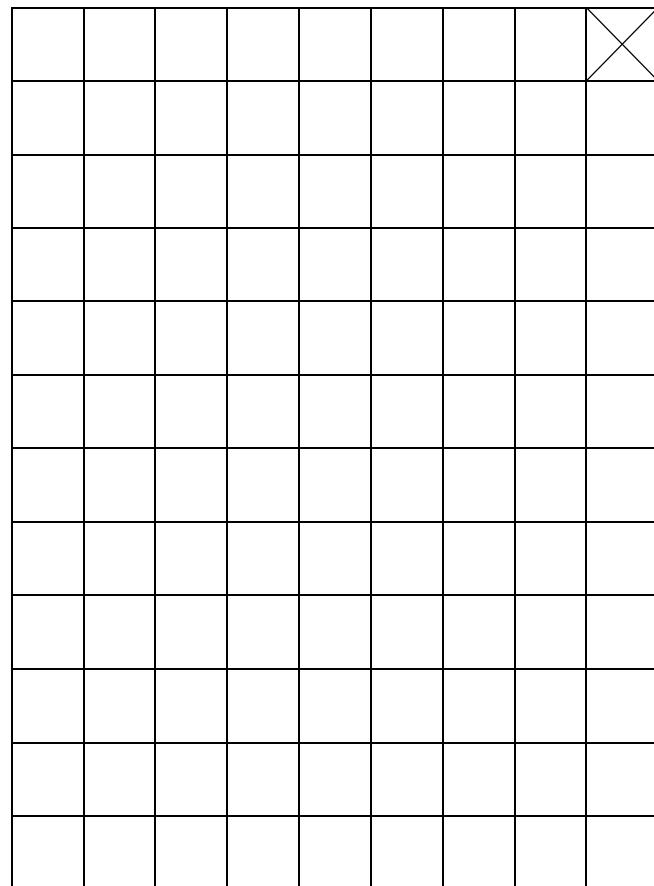
この「枕草子」を書いた清少納言と同じ、平安時代中期に
まくらのそうしんせいしょうなんげん

活やくした女流作家に紫式部あじしきぶがいるよ。紫式部の代表作と言えば

「源氏物語」だね！
げんじものがたり

☆ マスを正しく使って、ていねいに書き写しましょう。

冬はつとめて。雪の、ふりたるは言ふべきにもあらず、しものいと白きも、またさらでもいと寒きに、火などいそぎおこして、炭もてわたるもいとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火おけの火も白きはいがちになりてわろし。



冬は早朝がよい。雪が降っているのは言うまでもない。霜が真っ白なのも、
またそうでなくとも、とても寒いときに、火などを急いでおこして、炭を
持ち運ぶ様子もたいへん冬らしい。昼になつて、寒さがやわらいでくると、

火桶の中の火も白い灰が多くなつてきて、よくない。

「枕草子」は、作者の清少納言が心に感じたことを自由に書き記した
隨筆だよ。清少納言は、この作品の始めに、四つの季節それぞれに
ついて、自分の思いをつづっているのだね。他にも、こんなことを
書いているよ！

うつくしきもの。瓜にかきたるちゞの顔。

かわいらしいもの。ウリに描いた子どもの顔。

